

関係人口 受入事例集 vol.5

Let's expand the circle!

「やってみたい」と「手伝って」をマッチング



関係人口

[かんけい
じんこう]

「関係人口」とは、その地域に住んでいる「定住人口」や、観光や出張などで一時的に訪れる「交流人口」に加えて、地域に継続的な関わりや愛着を持ち、何らかの形で地域に関わる人々を指す新しい考え方です。



強

関係人口とは？

↑
地域との関わり
↓

関係人口



あまり
知らない

観光名所は
知っている

観光で
来た

交流人口

定住人口



地域内に
ルーツがある人
(近居・遠居)



何らか関わりが
ある人(過去の勤務や
居住・滞在等)



地域への想い

強

弱

地域づくりの担い手に！

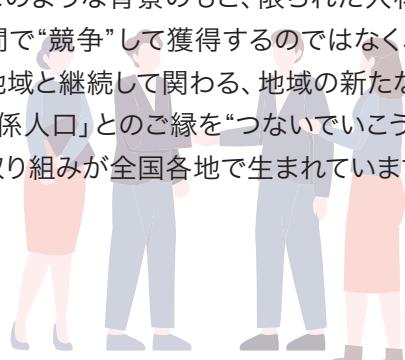
出典: 総務省二地域居住・関係人口ポータルサイト「関係人口とは?」(<https://www.soumu.go.jp/kankeijinkou/about/index.html>) を元に編集

地

域の新たな仲間
「関係人口」！

人口減少は島根県最大の課題。人口減少に伴い、各地で“担い手不足”が顕在化し、地域で当たり前に行われてきた営みを継続することが困難に。人口の減少が深刻化しているのは、島根県だけではありません。全国で人材不足、後継者不足が起こっています。

このような背景のもと、限られた人材を地域間で“競争”して獲得するのではなく、複数の地域と継続して関わる、地域の新たな仲間「関係人口」とのご縁を“つないでいこう”という取り組みが全国各地で生まれています。



定住財団で取り組む 「関係人口施策＝地域づくりの仲間集め」

私たち定住財団は、令和3年から「関係人口」が「地域づくりの仲間」として活動に関わるきっかけづくりのための事業をスタート。地域に住んでいない方や団体の構成員でない方も活動に参加できる仕組みとして、「しまね関係人口マッチング・交流サイト しまっち！」を開設しました。

「しまっち！」は島根の地域のみなさんが地域活動を掲載し、「地域づくりに携わりたい！」という想いを持った方が活動に参加できるマッチングサイト。地域のみなさんがこれまで大切にしてきた活動や想いを未来につなぐため、「関係人口の力も借りて活動に挑戦したい」とチャレンジするみなさんの活動を後押しできるようなサイトづくりに取り組んでいます。

関係人口と地域づくりに取り組むことで 受入地域に期待できる段階的な効果

- ✓ 活動負荷が下がる
- ✓ 活動の活性化・持続化
- ✓ 地域内の活動量UP
- ✓ 地域内からも関わる人が登場
- ✓ 地域のファン増加
- ✓ 関係人口からの魅力発信
- ✓ 来訪者・移住検討者の増加
etc...



「しまっち！」の輪 〈掲載プログラム数〉

累計 **450** 件
〈マッチング件数〉
通算 **338** 件

令和7年9月30日現在



「関係人口」は島根“県外”的な方 だけではない!?

「しまっち！」に掲載している活動には、島根県内在住の方も参加できます。私たち定住財団の願いのひとつは「地域づくりに取り組む仲間を増やすこと」。島根県内にお住まいの方の中にも、地域の活動に取り組みたい意欲を持ちながらも活動に参加できない方がいます。また、島根県に移住して日が浅く、地域の方とのつながりが希薄な方、ご自身の興味・関心から他の地域の取り組みに参加してみたいという前向きな考えを持っている方も多数います。

「しまっち！」はそんなみなさんをつなぎ、主体的に地域の活動に参画するプレイヤーが育っていくためのきっかけとしても活用できます。



どうやって使う？ どんなサイト？



「しまっち！」を活用してみよう！

「しまっち！」とはどんなサイト？

島根と多様な関わりを持つ、観光以上・移住未満の「関係人口」と呼ばれる人たちと、島根の地域団体のみなさんをつなぐマッチングサイトです。地域の団体がプログラム主催者（オーナー）となって、さまざまな地域活動を掲載でき、お手伝いなどの関係人口（サポーター）を募集できます。みなさんの“叶えたい目的”に応じて、参加者を募る「プログラム」、活動を知ってもらうための「コミュニティ」、活動報告の「レポート」のいずれも無料で利用いただけます。お気軽にご活用ください！



1 プログラム・コミュニティ・オーナー情報の掲載



プログラム オーナーが活動を掲載し、サポーターの募集を行うもの。

コミュニティ オーナーとサポーターがつながる場。サポーターとの関係づくりに役立ちます。

オーナー情報 これまでの活動実績、今後の活動の展望、保有しているWEBサイトやSNSアカウントなどを掲載できます。

3 コメント機能



プログラムやコミュニティページ上でサポーターと交流を図る機能。サポーターからの応援メッセージや質問、相談などの投稿に対し回答することで、交流を深められます。

2 活動レポートの作成



プログラムやコミュニティの実施結果を掲載する記事のこと。レポートはサイトに公開されます。興味を持ちながらも参加できなかったサポーターへ情報提供することで、次回以降の参加につなげたり、振り返りを記すことで参加してくれたサポーターとの絆を深めたり、サポーターとの関係構築に役立ちます。

4 プログラム参加申込者へメール送信



参加申込みをしたサポーターへメールを一斉送信できます。天候の悪化等でプログラムが中止となった場合などにも、スムーズに連絡をとれます。また、次回の開催をお知らせしたり、メールマガジンのように近況を送信したりと、コミュニケーションツールとして活用できます。



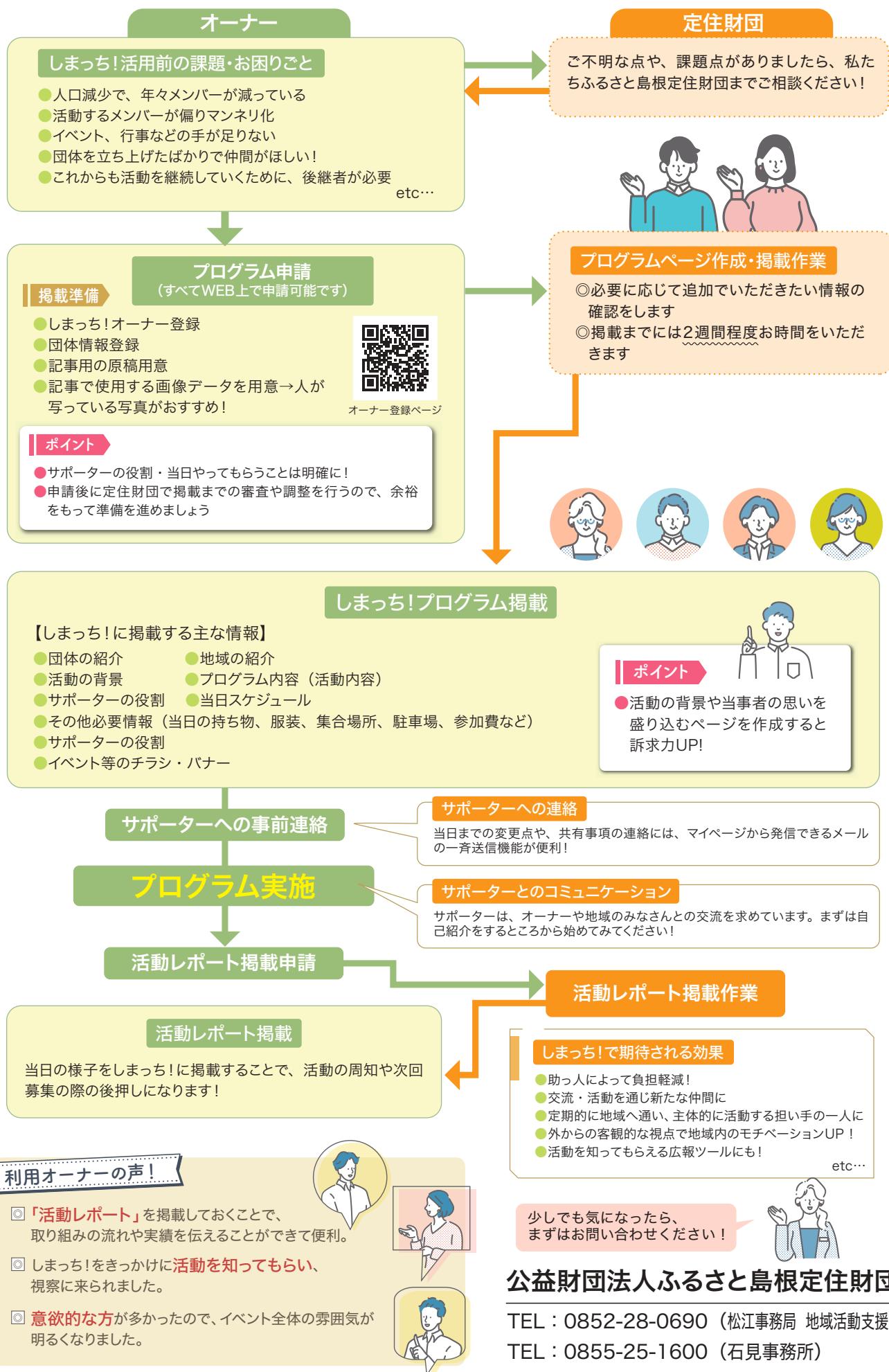
こんな
使い方

- 昔から開催している**イベント・祭事**の運営助っ人を募集
- 草刈りをはじめとする**環境整備活動**の手伝いを募集
- 商品開発**などのアイデアを募るオンライン企画への参加募集
- 県外開催**のイベントで現地サポーターを募集

プログラム
一覧はこちら▶



しまっち!活用の流れ





え!? こんなことにも!? ダメ元でもまさかの助っ人現る!

CASE1

躍動と安らぎの里づくり鍋山

種別 地域自主組織

地区/地域 雲南省三刀屋町鍋山地区

人口 1,225人 高齢化率 53.9%*

(*団体から提供のデータを元に表記)

主な拠点 鍋山交流センター

普段の活動 健康づくりサポートや移動支援等の地域福祉活動など

躍動と安らぎの里づくり鍋山の課題感

- 少子高齢化
- 若者の地元離れ
→典型的な中山間地域でも…豊かな自然・住民同士が共に見守り、助け合う地域をつくっていきたい



事務局長
菅澤さん



noteに詳しい記事を載せてます!

しまっち!プログラム①

水辺の見守りプログラム(R6年7月実施)

子どもたちが鮎のつかみ取り体験を実施する夏休みイベント、「生き活き!みとやっこ水辺教室」をR7年もプログラム掲載

サポーターの役割

- 子どもたちの見守り、安全確保
- 鮎を炭火で焼く作業のお手伝い
- 食事会の準備、片付けのお手伝い



しまっち!を実践して得られた効果

- サポーターとして大学生が参加してくれたため、地域の子どもたちが普段は関わる機会のない大学生と交流できた
- 深谷温泉など、地元のスポットや良さをアピールできた
- 新たな視点が地域に広がり、地域課題解決のアイデアも得られた
- 大きな負担になっていた生け簀づくりを実施
→例年の半分の時間で作業が終わって負担減

しまっち!担当職員より

前日の生け簀づくりのお手伝いにも応募があり正直驚きました。しまっち!が役に立って本当によかったです。

また、サポーター受け入れ時の熱中症対策など安全を考え「関係人口受入事業助成金」(P9)を上手に活用いただけたのもよかったです。



R7年は前日準備の「生け簀づくり」もしまっち!プログラム化!

地味だけど大切な鮎つかみ取り用の生け簀づくり。サポーターが来てくれるか不安もありましたが、意外にも2名の方が参加してくださいました!

しまっち!プログラム②

生け簀づくりプログラム

サポーターの役割

- 川に生け簀を設置
- 川遊び場のネット張り
および石積み
- 川底の整備

オーナーの声

「重労働にも関わらず来てくれた。こんなにも来てくれるのが意外だった」

「鮎が逃げないように、丁寧に作業をしてくださって感動した!」

サポーターの声

「イベント当日は来れないですが、安全に開催するには大切な作業だと思うので参加しました」

「子どもたちの役に立てるならうれしい」





しまっち!が繋ぐ 新たな仲間と支援の輪

CASE2

NPO法人 美身伝心

種別 NPO法人

地区/地域 出雲市

設立 R5年10月

メンバー 24人

普段の活動 がん患者さんの支援、発達障がい児、不登校児、引きこもりとその保護者の支援など



団体HP



noteに詳しい記事を
載せてます!

美身伝心の課題感

- 「がん患者さん支援、タオル帽子の支援」について広めたい
- 月に1回開催している「タオル帽子づくりの会」は参加者の集まりが悪く、タオル帽子制作が追いつかなくなっていた
→タオル帽子制作の需要は高く、寄贈を待っている病院も



理事長
下井さん

しまっち!プログラム①

サポーターが参加しやすいプログラムにまずは挑戦!

「手を繋ごうフェスタ」のサポーター募集(R6年・R7年)

「がん患者さん支援、不登校、引きこもり支援」を広め、1人でも多くの方が笑って暮らせる世の中にしたいという想いから開催したイベントの運営サポーター募集

サポーターの役割

- 当日のブース運営補助
- タオル帽子づくり体験コーナーのお手伝い

「手を繋ごうフェスタ」の手ごたえから タオル帽子づくりもプログラム化!

課題だった「想いに共感してくれる」方とのつながりづくり。「手を繋ごうフェスタ」にしまっち!サポーターとして参加してくださった方の熱意に手ごたえを感じ、タオル帽子制作をプログラム化しました

しまっち!プログラム②

「タオル帽子づくり」のサポーター募集(R7年~)

がん患者さんに贈る手縫いのタオル帽子の一部を作るお手伝い

サポーターの役割

- 手縫いで作るタオル帽子づくり

「タオル帽子づくり」プログラム実施回数 2回

R7年「タオル帽子づくり」サポーター申込者数 のべ5名

しまっち!を実践して得られた効果

- 法人の活動の認知度が上がった
- 参加された方が活動に共感してくれたことで、つながるきっかけになった
- NPO本来の活動(タオル帽子づくり)に活動の想いを理解したうえで参加してもらえるようになった

しまっち!担当職員より

NPOだからこそ情報発信の信頼度がベースにあるので、プログラム掲載がスマートでした。しまっち!掲載後も、活動の様子を地道にFacebook投稿され、共感者を増やす努力が素晴らしいです。



サポーターの声

「自分が作った帽子が誰かの力になると思うと、温かい気持ちになりました」

「作り方は思ったより難しかったけれど、夢中に縫っているうちに心が落ち着きました」





“関わる”ことで守る! 「しまっち!」が結んだ新しい力

CASE3

だいわでんとうぎょうやな

大和伝統漁業築保存組合

種別 任意団体

地区/地域 邑智郡美郷町（旧大和村）

人口 1,239人 高齢化率 50%

（島根県、しまねの郷づくり応援サイトを元に算出）

主な拠点 鮎の館 雨瀬（あまぜ）荘

普段の活動 江の川の伝統漁法「築漁」に関連したふるさと教育、観光体験事業、ボランティアの受け入れなど

大和伝統漁業築保存組合の課題感

- 地域でかつて見られた風景を守るために、組合で事業を継承していたが、高齢化により一時休止→R2年に新たな組合で事業復活。伝統漁法「築漁」を継続させたい
- 取組みをさまざまな方に知っていただき、輪を広げたい



組合長
栗原さん



noteに詳しい記事を
載せてます！

しまっち!プログラム掲載

伝統漁法「築漁」体験イベント「島根県唯一の築漁と鮎のつかみどり体験」と、町内の子ども向けのふるさと学習等の運営スタッフを募集

サポーターの役割

- 受付のサポート（ライフジャケットの脱着フォローなど）
- 築の疑似体験のサポート
- 鮎つかみ取り体験のサポート
- 鮎の塩焼きや昼食準備、片付けのサポート



R6年の場合 のべ… **33名**

（島根県内 8名、山陽 20名、関西 4名、中部 1名）

R7年の場合 のべ… **27名**

（島根県内 12名、山陽 15名）

※同伴者含む

サポーターの声



「地域の方々の苦労を思うと、できることは協力したい」

「伝統漁だけでなく、地域の方の温かさに触れられ、とても心に残りました」

しまっち!を実践して得られた効果

- スタッフ不足を補ってくれる
- サポーターが知り合いに声を掛けてくれるなど、「広がり」が見えた（楽しいプログラムだから声が掛けやすい？！）
- 複数回来てくれるリピーターとつながり、組合員の励みに



しまっち!を活用したことで、
築漁に関わってくれる新たな
方々を発掘!さらなる広がりを
目指します



しまっち!担当職員より

受け入れたたびに体制を改善し、今では誰が見ても分かりやすい役割表を作成。改善点を次回に活かす行動力と実行力は本当に勉強になります。



益田市

一般社団法人ぬくもりの里二川の場合

メイン活動エリア 益田市美都町

メンバー数 140人 活動年数 7年

普段の主な活動内容 地域振興、宿泊施設管理運営

掲載プログラム概要 「かまどづくり」サポーター募集

最初は不安があったものの、別団体の
プログラムにコラボ参加したこと
でしまっち!の実用性を実感!



詳しい
活動の様子
はこちら



活動レポート



ぬくもりの里二川HP

Q
A

「しまっち!」活用の決め手は何でしたか?

最初はハードルが高いように思って躊躇していたのですが、美都森林というオーナーが企画するしまっち!プログラムに参画させていただくようになり、自分たちのところで活用するイメージができました。

Q
A

「しまっち!」を活用してどんな手ごたえがありましたか?

これまで地元だけでは募集に限界がありましたが、興味のある人が集まり、楽しく進めることができました。

Q
A

今後、「しまっち!」を活用してみたい活動はありますか?

焚き火を使った調理イベントのお手伝い、柴犬の祖犬「石号」の里の保全等で活用してみたいです。

しまっち!
はじめました!



「しまっち!」気になるけど実際
どうなの…?はじめて使ってみた
団体さんに質問してみました!

松江市

秋鹿まちづくり委員会の場合

松江市職員と定住財団職員の紹介が
きっかけで、しまっち!サポーター募集に
初挑戦!



掲載
プログラム
はこちら



プログラム

※本来、ウニの採取は禁止され
ていますが、特別に漁協と一緒に
企画し、実施しています。

メイン活動エリア 松江市秋鹿町

メンバー数 40人 活動年数 10年

普段の主な活動内容 ウニ退治、秋鹿小学校・秋鹿幼稚園等跡地
利活用の検討、あいか夏まつり実施 など

掲載プログラム概要 「ウニ退治」イベントサポーター募集

近年の気候変動で増え過ぎたウニによる「磯焼け(他の生物のエサとなる海藻類を食べてしまう食害現象)」への対策のため、普段は採取が禁止されているウニを捕獲することで数を減らす「ウニ退治」を実施。サポーターのみなさんにもウニの捕獲をお手伝いしてもらいました。

Q
A

「しまっち!」を活用してどんな手ごたえがありましたか?

参加者80名のうち、3割近い26名が「しまっち!」から参加してもらいました。

島根県外や松江市外から多く参加され、秋鹿地区の魅力発信や、海洋資源の保護について幅広く考える機会として大きな成果が得られたと感じています。参加された方も楽しんでおられるように見え、こちらもうれしくなりました。

Q
A

今後、「しまっち!」を活用してみたい活動はありますか?

今年度から秋鹿小学校を会場に夏まつりを開催したり、継承が難しくなった秋鹿味噌を復活させる取り組みを進めています。

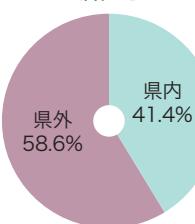
ほかにも急速に少子高齢化が進み、地域の伝統文化や、新たな活動の担い手が不足してきています。「しまっち!」を活用することで、新たな活動の担い手の獲得や、地区内外への地域の魅力発信につなげ、活気ある地域づくりを進めていきたいと思います。

しまっち!利用実績

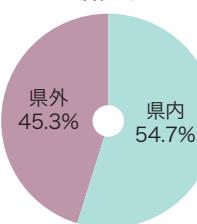
(令和7年9月30日現在)

関係人口は、県外の方に限りません。
県内にお住まいのサポーターのみなさんも積極的にプログラムに参加しています。

サポーター登録者の居住地



プログラム申込者の居住地



- オーナー登録数……………240団体
- サポーター登録者数……………2,100人
- プログラム申込者数……………1,507人
- プログラム掲載件数……………450件
- マッチング件数……………338件



サポーターの声



プログラム内容自体を楽しめたことに加え、オーナーさんや地域の方々とたくさんお話できた。

進学で地元を離れてから何か役に立つことがしたいなと思っていたので参加しました。久しぶりに地域の方々と交流したり、スタッフの一員として活動を盛り上げることもでき、参加してとてもよかったです！

海ゴミ拾いに参加し、美しい砂浜にあんなにもゴミがある現実に驚きました…。自分たちの暮らしを考えるきっかけになる貴重な体験でした。この美しい景色を守りたいという気持ちも芽生え、ほんの少しではありますが、貢献できたという喜びを味わうこともできました。

地元の方の地域に対する愛情を感じました。またこの町の風景を維持していくために協力していくたいと思います。

プログラムに参加することで地域への貢献が可能になり、地域のことを知るきっかけにもなります！



(サポーターアンケートより抜粋)

関係人口のみなさんと一緒に活動することで
負担が軽減され、新たな気づきや可能性を得られることも！



しまっち!サポーターさんのおかげで、当初の予定より早く作業を終了できました！

休憩中にいろいろとお話ししていて、参加された方のフットワークの軽さと行動力に刺激をいただきました。また、何よりご自身も楽しんでいただいている様子が見られたので、こちらもうれしかったです。素敵な出会いをありがとうございました。

初対面同士が同じ目的で交ざり合う、地区民と地区外の人が交ざり合う光景に不思議な感覚を覚え、そして過疎の村の課題解決の可能性を感じました。

オーナーの声



(活動レポートページより抜粋)

遠方からの参加の一助に！

しまサポ助成金

「しまっち！」にサポーター登録し、「しまっち！」を通じて助成対象プログラムに申込・参加した場合の交通費と宿泊費を一部支援する制度。県内外問わず活用できる助成金なので、「しまっち！」のプログラム参加がしやすくなります。

しまサポ助成金（しまっち！サポーター地域活動参画助成金）

対象	しまっち！にサポーター登録し、しまっち！を通じて助成対象プログラムへ申込・参加された方
対象経費	プログラムに参加するため居住地から目的地の間を移動する際に要する交通費（片道分）、宿泊費（半額）
助成限度	1回につき上限10,000円、1名につき2回まで

詳しくはこちら▼



地域づくりを支える

関係人口受入事業助成金

しまね関係人口マッチング・交流サイト「しまっち！」に掲載するプログラム（関係人口とともに取り組む持続可能な地域づくり活動）を応援します！

対象	しまね関係人口マッチング・交流サイト「しまっち！」にオーナー登録している県内のNPO法人、民間団体やグループ（構成員5名以上）、商業法人等
対象事業	関係人口の受入れを促進する取組み

詳しくはこちら▼



しまっち!オーナーの「心得」

～まずはチャレンジ!しまっち!活用のコツ～



心得
その1

掲載する写真は人が写ったカットがいい!
(笑顔があるとなおよし)

プログラム掲載の際には、写真のセレクトがとても大切。記事を見ている方に、楽しい様子や、そこで活躍する地域のみなさんの笑顔を届けられると、サポーターの申込みが多くなる傾向が!



心得
その2

掲載すれば“人が集まる”わけではない!
プログラムをしっかりPRしよう!

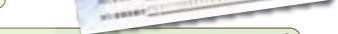
掲載したからといって自動的にサポーターが集まつくるわけではありません。申込みが「0」なこともあります。参加してもらうために、継続してプログラムを上げたり、レポートを載せたりすることで、次回の申込みにつながり、活動の周知促進につながります!オーナー自身もししまっち!プログラムページをSNSなどで紹介してください!



心得
その3

しまっち!参加証明書を用意しておこう

「しまサポ助成金」には参加証明書が必要です!当日あわてないように事前に準備しておきましょう。



心得
その4

サポーターのみなさんのことを紹介しよう!

当日は、一緒に活動する仲間たちへ、しまっち!サポーターのことを紹介しましょう。受入側の地域のみなさんからも、自己紹介があると安心です。

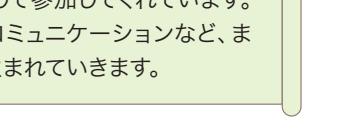
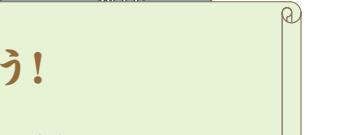
※しまっち!シール(名札)も用意しています!ぜひ、ご活用ください。



心得
その5

サポーターにイベントの概要や作業の流れを説明しよう!

地域のこと、活動のこと、人のことを紹介するとなおグッド!(ただし、負担は最小限に)



心得
その6

サポーターとの交流を楽しもう!

しまっち!サポーターは単なる労働力ではなく、みなさんの仲間として参加してくれています。「交流」はおもてなしや食事という意味ではありません!何気ないコミュニケーションなど、まずは集まつたみなさんに関心を持って接することから信頼関係が生まれていきます。



心得
その7

しまっち!のマイページを上手に活用しよう!

プログラムを掲載した後、当日までのやりとりには、一括メール送信などマイページ機能が便利。次にプログラムを掲載する際にも、過去の参加者へ向けた情報発信ができます。せっかく生まれたつながりを上手に活かしていきましょう。

いきなり全てを完璧にできなくても大丈夫。しまっち!プログラムを通じ、オーナーのみなさん、サポーターのみなさん、それぞれが前に進めるような活動になれば幸いです。





島根県内の地域と関係人口
とのマッチング・交流サイト



しまっち!
しまね関係人口マッチング・交流サイト



<https://shi-match.jp/>



セミナー情報・地域活動支援
メニューなど



しまね地域活動応援サイト

furefureしまわ



<https://furefure-shimane.jp/>



NPO・ボランティア活動を
行っている個人・団体等の支援、
助成金情報など

島根いきいき広場
県民活動応援サイト
Shimane Ikiiki Hiroba



<https://www.shimane-ikiiki.jp/>



民泊・田舎体験を行うしまね
田舎ツーリズムに関する情報など

おいでよ!しまね
しまね田舎ツーリズムポータルサイト



<https://www.oideyo-shimane.jp/>

お問い合わせ・発行元：

公益財団法人 ふるさと島根定住財団

松江事務局 〒690-0003 島根県松江市朝日町478-18 松江テルサ3階
(地域活動支援課) TEL: 0852-28-0690 E-mail: chiiki@teiju.or.jp

石見事務所 〒697-0034 島根県浜田市相生町1391-8 シティパルク浜田2階
TEL: 0855-25-1600 E-mail: iwami@teiju.or.jp

県内市町村の下記窓口でも関係人口の受入れについてご相談いただけます。

松江市	定住企業立地推進課	TEL 0852-55-5215
浜田市	定住関係人口推進課	TEL 0855-25-9511
出雲市	政策企画課	TEL 0853-21-6612
益田市	地域振興課	TEL 0856-31-0173
大田市	まちづくり定住課	TEL 0854-83-8030
安来市	定住産業課	TEL 0854-23-3178
江津市	地域振興課	TEL 0855-52-7926
雲南市	政策推進課	TEL 0854-40-1011
奥出雲町	政策企画課	TEL 0854-54-2514
飯南町	まちづくり推進課	TEL 0854-76-2864

川本町	まちづくり推進課	TEL 0855-72-0634
美郷町	活気あふれる町づくり課	TEL 0855-75-1212
邑南町	地域みらい課	TEL 0855-95-1117
津和野町	つわの暮らし推進課	TEL 0856-74-0092
吉賀町	企画課	TEL 0856-77-1437
海士町	財政課	TEL 08514-2-0114
西ノ島町	政策企画課	TEL 08514-6-0028
知夫村	地域創生課	TEL 08514-8-2211
隱岐の島町	地域振興課	TEL 08512-2-8570

令和7年12月現在